

# SCREEN

スクリーン

- dnp Supernova™ SCREEN
- フロントスクリーン
- リアスクリーン
- フロント・リアプロジェクションスクリーン
- アルミスクリーンボックス



## dnp Supernova™ SCREEN

- 固定用・巻上げスクリーン各種——P29 ~ 35
- 超短焦点用プロジェクター対応スクリーン——P36
- ウッドキャビネット関連——P37 ~ 40
- クリアブラックスクリーン——P41 ~ 42

## リアスクリーン

- リアスクリーン——P69
- リア巻上スクリーン——P69

## フロント・リアプロジェクションスクリーン

- CUSTOM MADE スクリーン——P70
- 大型ポータブルスクリーン——P71 ~ 74
- 大型シームレススクリーン (Stewart)——P75 ~ 76

## アルミスクリーンボックス

- KBM・KBE——P129
- KFBM・KFBE——P130

## フロントスクリーン

- ガラス製ホワイトボードスクリーン——P43 ~ 44
- 巻上スクリーン各種 (電動 / スプリング)——P45 ~ 60
- 学校安全マーク取得モデル——P47 ~ 50
- 大型下巻取スクリーン——P59
- 掛図スクリーン——P60
- パネル貼りスクリーン——P60
- 張込スクリーン——P61
- ホワイトボードスクリーン——P62
- マグネットスクリーン各種——P63 ~ 64、P68
- スライド式電子黒板——P63 ~ 64
- モバイルスクリーン——P65 ~ 67
- 三脚スタンドスクリーン——P67
- 3Dスクリーン——P70
- 大型ポータブルスクリーン——P71 ~ 74

# dnp Supernova™ Screen

スーパーノヴァ スクリーン

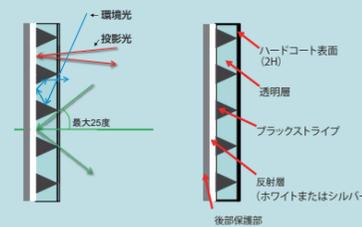


資生堂ジャパン株式会社様内 SJ-STATION CAFÉ CUE 様 dnp Supernova™ Blade ノーマルゲイン 120 インチ (16:9)

dnp Supernova™ は明るい照明が必要な様々なシーンでも、品質を落とすことなく映像の投影を可能にします。また、従来のフロントプロジェクションスクリーンのように、天井照明を暗くする必要はないため、コントラストを一切損なうことなくクリアな映像をご覧いただけます。ケイアイシーでは固定用、電動巻上用、超短焦点用をラインナップ。レイアウトやニーズに応じて、固定ボードタイプ・電動巻上タイプ・フレーム張込タイプ・大型タイプ・超大型タイプよりお選びください。

## 「外光吸収構造」独自のレンチキュラーレンズ構造が生み出す鮮やかなコントラスト

### レンズ構造

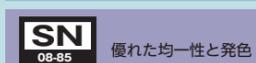


- > レンチキュラーレンズ構造が上方向及び下方向からの常光を吸収
- > レンズピッチ0.065mm(65ミクロン)
- > +23Kレンズ@1.5m (イメージ高さ)
- > 一枚生地での最大高さ= 1.5m
- > 16:9で最大120インチ
- > 16:10で最大112インチ

### ホワイトスクリーンとの比較



### 2つのグレード



### コントラスト比較



- 上段: Supernova 23-23 (ハイゲイン)
- 中段: ホワイトスクリーン
- 下段: Supernova 08-85 (ノーマルゲイン)

## 超短焦点プロジェクター専用 (STS/STW)

### STS STF0.9 (STS に搭載)

中会議室など

#### フレネルレンズテクノロジー

半円状のフレネルレンズはプロジェクターから投影された映像を効率よくスクリーンの前面に向かうように調整します。

- 1 ハードコート層
- 2 黒色層
- 3 拡散層
- 4 反射層
- 5 フレネルレンズ
- 6 バックコート

#### 設置について

プロジェクターはスクリーンの上方または下方、どちらの位置へも設置できます。非常に明るい環境照明の下では映像が上向きの投影されるよう、スクリーン下にプロジェクターを設置されることをおすすめします。そうすることにより、上からの環境照明は遮断され、より高いコントラストを得ることが出来ます。



### STW STL0.5 (STW に搭載)

文教関係や講堂・大会議室など

#### モノクロレンチキュラーテクノロジー

水平方向に設けられた三角錐状のレンチキュラーレンズ構造は上からの環境光を吸収し、下側から投影された映像を拡散・反射することで広視野角で高コントラストの映像を実現します。

- 白色反射層
- 黒色レンズ層
- 素地
- 裏面保護剤

#### 設置について

プロジェクターは、スクリーンの下方に設置します。短焦点プロジェクターを下方向から投影することで上部からの環境光は吸収され、よりコントラストが高い映像を実現できます。

